

政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化

令和元年度の主な施策の実施状況

①産業力の強化を図るため、川上側の高性能林業機械導入（生産性向上）を支援した。また、川下側の合板・製材工場等の木材加工流通施設の整備（高付加価値化・競争力強化）を支援した。



フェラーパンチャ

【概要】
 ・高性能林業機械等
 川崎町森林組合（フォワード）
 津山町森林組合（フォワード）
 宮城十條林産（株）岩出山営業所（フェラーパンチャ）
 ・木材加工流通施設
 丸平木材（株）（木材乾燥機）
 （株）佐藤製材所（自動積積装置）



木材乾燥機

②木材需給調整システムの開発・実証を支援した。（川上側の資源量・丸太出荷量等の情報を集積し、川下側に迅速かつ正確に情報を提供する素材の一元管理システムの開発）



3Dレーザースキャナーによる森林調査



【概要】
 ・ICTを活用した木材需給システムの開発支援
 ・需給管理システム開発
 ・3Dレーザースキャナー導入

<支援先>
 ・石巻地区森林組合

③木材需要の創出を図るため、宮城県CLT等普及推進協議会と連携し、さまざまな場面での建築におけるCLT活用に向けた取組を支援した。



CLTを活用したブロック塀

【概要】
 ・CLT住宅プランの作成・モデル施工 5プラン
 ・CLTを使った新製品の開発（CLT塀の開発支援）



CLT建築物の内観

④中層階等の非木造分野における木材利用の拡大を図るため、木造建築に関する技術者育成の取組を支援した。



みやぎ木構造現場技術者の認定式

【概要】
 ・技術者育成に向けた取組
 技術講習会・勉強会 35回（延べ736人）
 県産木材製品等PR 6回（延べ1,369人）
 先進地視察 6回（延べ104人）
 幹事会等 14回（延べ299人）
 ・みやぎ木構造現場技術者の認定 15人

<支援先>
 ・宮城県CLT等普及推進協議会

⑤木質バイオマス利用の促進を図るため、県内観光施設・園芸施設に対して地域森林由来の未利用材の燃料購入を支援した。



小型バイオマス発電施設

【概要】
 ・未利用バイオマス供給量 2,656m³
 <供給先>
 宮戸地区復興再生多目的施設（あおみな）
 パブリカ栽培施設（（株）デ・リーフ北上）
 バイオマス発電施設（気仙沼地域エネルギー開発（株））
 ・木質バイオマスネットワーク会議の開催 1回

⑥木材の利用の促進を図るため、公共性の高い民間施設等における木質化や、県産材を使った木造住宅の建築に対して支援した。



内装木質化及び木製品の配備

【概要】
 ・内外装の木質化の支援 5件
 ・県産材利用住宅支援 450件

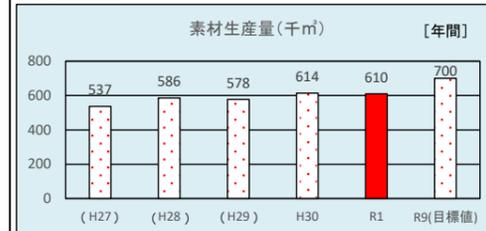


県産材を使用した住宅

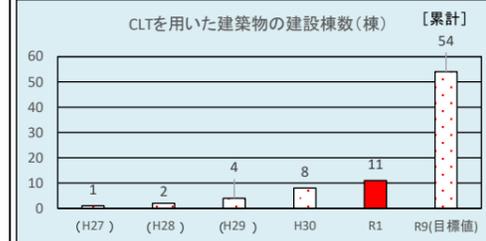
⑦森林経営計画の策定率向上に向け、森林所有者や林業事業者等による施業・経営の集約化を図るとともに、森林経営管理制度の運用に必要な林地台帳の整備について市町村を支援した。

主な目標指標の達成状況（ ）=参考値

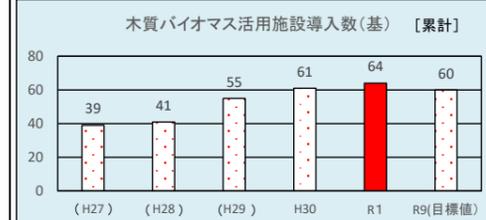
◎素材生産量



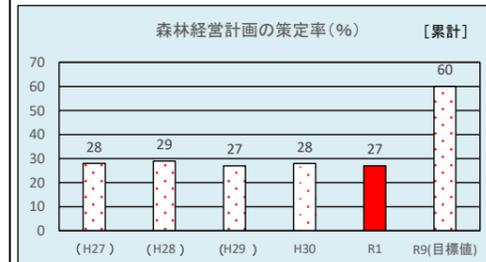
◎CLTを用いた建築物の建設棟数



◎木質バイオマス活用施設導入数



◎森林経営計画の策定率



令和2年度の主な取組

- 県内の素材生産量の増大と木材自給率の向上を図るため、高性能林業機械導入等の支援を行う。
【林業成長産業化総合対策交付金事業】
- UAV（ドローン）を用いた森林調査及びデータ解析の実証等を行う。
【スマート林業推進事業】
- 地域特性や需要等のニーズに対応した原木流通システムを県内全域に波及させるため、必要なシステム開発及び機器の導入を行う。
【素材新流通システム構築事業】
- CLT建築によるトータルコスト低減の提案を行う建設計画や、非木造分野での需要創出、CLT住宅プランの作成や施工等、CLT普及促進に向けた支援を行う。
【CLT建築普及促進事業】
- 木質バイオマス活用施設導入や、未利用バイオマスの安定調達を支援するほかネットワークづくりを推進する。
【木質バイオマス広域利用モデル形成事業】
- 公共性の高い民間施設における内装木質化に対して支援を行う。
【木の香るおもてなし普及促進事業】
- 市町村による森林経営管理制度の推進に向けた取組を支援するとともに、森林施業地の集約化に向け、森林情報の適正化と地域森林計画の樹立変更を行う。
【森林経営管理市町村支援事業】
【地域森林計画編成等事業】

政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮

令和元年度の主な施策の実施状況

①森林の二酸化炭素吸収機能や水源涵養機能などの公益的機能を高度に発揮させるとともに、旺盛な木材需要にこたえていくため、間伐や路網整備を支援した。



高性能林業機械による間伐



間伐後の森林

②人工林伐採後の再造林を推進するとともに、造林コストの低減を図るため、「伐採と造林の一貫作業システム」の普及に取り組んだ。



一貫作業造林システム検討会



防鹿柵

③松くい虫被害から特別名勝「松島」地域等の重要な松林を守るため各種防除対策を推進した。また、被害跡地に松くい虫抵抗性マツを植栽し松林の再生と景観保全を図った。



抵抗性マツ植栽

【概要】
 ・伐倒処理 8,113m³
 ・薬剤空中散布 370ha
 ・薬剤地上散布 125ha
 ・薬剤樹幹注入 2,451本
 ・抵抗性マツ植栽 1,960本

④山地災害を未然に防止するため、治山対策を計画的に推進するとともに、治山施設の長寿命化を図るため、治山施設の点検を実施した。



治山施設

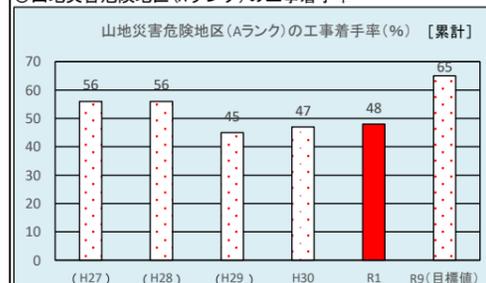
【概要】
 ・治山事業の実施 10箇所
 ・治山施設点検診断 249箇所

主な目標指標の達成状況（ ）=参考値

◎松くい虫被害による枯損木量



◎山地災害危険地区(Aランク)の工事着手率



令和2年度の主な取組

- 森林の持つ多面的機能の発揮に向け、間伐や路網整備を推進する。
【温暖化防止間伐推進事業】
- 将来の森林資源確保を持続的にするため、再造林を推進し、一貫作業システムの普及を図る。
【温暖化防止森林更新推進事業】
- 松くい虫防除対策の推進、被害跡地への松くい虫抵抗性マツ植栽を継続して行う。
【森林病虫害等防除事業】
【特別名勝「松島」松林景観保全対策事業】
- 治山事業の実施や治山施設の長寿命化に向けた、個別施設計画を策定する。
【治山事業】